

持続可能な開発目標（SDGs）推進本部会合（第4回）
議事録

平成29年12月26日
官邸2階小ホール

【内閣官房長官】

ただ今から、持続可能な開発目標、SDGs推進本部の第4回会合を開催いたします。

それでは、議事に入ります。

まず、議事1「SDGs2018」、議事2「第1回SDGs受賞団体」について、和泉総理補佐官から説明をお願いします。

【和泉総理補佐官】

資料1の、『SDGsアクションプラン2018』について御説明いたします。

1ページ目を御覧下さい。2030年に向けて、日本の「SDGsモデル」を世界に発信していく機会が、数多く控えています。今回の推進本部においては、そうしたモデルの方向性や主要な取組が盛り込まれた本『アクションプラン』を決定したいと考えます。

「SDGsモデル」の方向性について、3ページ目の上半分を御覧下さい。

第1に、SDGsが掲げる社会課題等に効果的に対応できるよう、「Society 5.0」を実現します。ビジネス界の活発な動きを支持し、政府として民間企業の取組を更に後押ししてまいります。

第2に、SDGsを原動力に、地方の創生を推進していきます。政府が一体となって、先進的モデルとなる自治体を支援し、成功事例を普及展開してまいります。

第3に、SDGsの担い手として、発信力・創造力が豊かな次世代や、SDGsの目標でもある女性をエンパワーすべく、国の内外で取組を推進していき

ます。

3 ページ目の下半分が、政府の主要な取組となります。第 2 回会合で決定した『SDGs 実施指針』における 8 分野に沿って、各府省の主要な取組を打ち出しています。より詳細な内容は、資料の 4 ページ目以降に、分野ごとに掲載しています。

2018 年は、本『アクションプラン』もとに、政府一丸となって、SDGs の推進に注力していきたいと考えます。

続きまして、資料 2 の、『第 1 回「ジャパン SDGs アワード」受賞団体』について御説明いたします。

資料の 1 ページ目を御覧下さい。第 1 回目の募集を行ったところ、280 以上の企業・団体の応募がありました。「SDGs 推進円卓会議」構成員による選考結果を踏まえ、本部長賞 1 件、副本部長賞 5 件、特別賞である「SDGs パートナー賞」6 件を受賞団体として決定したいと考えます。以上です。

【内閣官房長官】

ただいまの説明に関連して、何か御発言等ございますか。

【佐藤外務副大臣】

外務省は、前回会合以降も、次世代や女性起業家、保健分野等への新たな支援を打ち出し、国連ハイレベル政治フォーラム等で、官民の先進的取組を発信しています。

日本が SDGs 推進に主導力を発揮できるよう、対外発信と国際協力に注力してまいります。

【麻生副総理兼財務大臣】

先般開催しました UHC フォーラムは大成功でした。私もフォーラムに出席し、財源確保を含め各国財務大臣が UHC 実現に果たすべき役割が大きいことを申し上げました。

引き続き日本が世界をリードする UHC の推進を通じ SDGs の達成に貢献してまいります。

【野田総務大臣】

SDGsには、全てのゴールの実現のために「ジェンダー主流化」が不可欠であるとの考えが強調されており、我が国も政府全体で女性活躍の取組を強化する必要があります。

総務省が目指す「落ち着いて、やさしく、持続可能な社会の実現」はSDGsの理念とも共通しており、今後もテレワークの推進などICT分野からSDGsの実現を目指します。

【林文部科学大臣】

文部科学省は、幼児教育の無償化の推進や高等教育の負担軽減、持続可能な開発のための教育の推進などによる次世代の教育振興や、地球規模課題解決などの科学技術イノベーション施策の体系化と戦略的实施などにより、SDGsの実現に努めます。

【鈴木国務大臣】

東京大会を持続可能性に配慮した大会とするため、都市鉱山から取れた金属を用いたメダルの製作に取り組んでいるところです。

こうした取組等を通じて、SDGsの考え方を広く社会に定着させ、2020年以降のレガシーとなるよう取り組んでまいります。

【世耕経済産業大臣】

経済産業省は、SDGsに資する企業経営が投資判断に影響することが生まれている中、企業と投資家の対話を促すガイダンスの活用とともに、企業への投資が適切に促進される方策を検討します。

また、Society5.0実現のためのConnected Industriesの推進、「なでしこ銘柄」など女性の活躍促進、質の高いインフラの普及、省エネ、再エネの導入を進めます。

【上川法務大臣】

法務省では、再犯防止対策、コンgress開催など「法の支配」を促進する国際協力、「心のバリアフリー」推進のための人権啓発等に取り組んでいます。

新設される官房国際課の司令塔機能により、SDGsの達成に一層貢献できると考えております。

【加藤厚生労働大臣】

保健分野では、先日、UHCフォーラム2017で採択されたUHC東京宣言等に則り、財務省はじめ関係省庁や国際機関等と連携しながら、各国におけるUHCの推進に積極的に貢献してまいります。

また、成長・雇用分野では、働き方改革を着実に推進するため、早期に必要な法案の提出を目指してまいります。

【江崎国務大臣】

SDGsの推進には、消費者の主体的な関与も重要であり、食品ロスの削減、子どもの事故防止など、「誰一人取り残されない」社会の実現に向け、消費者基本計画の策定・推進において、必要な取組を検討してまいります。

【梶山国務大臣】

自治体によるSDGsの達成に向け、SDGs未来都市及びモデル事業を選定し、資金的支援を行うとともに、省庁連携のタスクフォースにより強力に支援します。こうした成功事例を普及展開し、地方創生のさらなる実現につなげます。

【松山国務大臣】

SDGsの達成には科学技術イノベーションが鍵です。総合科学技術・イノベーション会議では、SDGsと表裏一体をなすSociety 5.0を推進するとともに、SDGsタスクフォースを今月立ち上げました。関係府省と連携し、科学技術イノベーション・ロードマップの策定等に取り組んでまいります。

【中川環境大臣】

現在、環境省では、環境基本計画の見直しを進めております。新しい計画の策定に当たっては、SDGsの考え方も活用することとしており、来春の閣議決定を目指しておりますので、御協力をお願いいたします。

【齋藤農林水産大臣】

持続可能性は農林水産業の発展にとって基本となるテーマであり、農林水産省としてもこれに着目した様々な取組を推進しているところです。こうした中、

持続可能な森林経営を核とした取組を行っている下川町の受賞は大きな励みです。今後とも、SDGs達成に向け積極的に貢献してまいります。

【牧野国土交通副大臣】

国土交通省では、公共交通機関のバリアフリーの推進、建設現場の生産性向上、コンパクト・プラス・ネットワークの実現、リスク管理型の水の安定供給等を推進しており、これらの取組を通じてSDGsの達成に貢献してまいります。

【内閣官房長官】

他に御発言もないようでしたら、『SDGsアクションプラン2018』、及び「第1回ジャパンSDGsアワード受賞団体」について、本推進本部の決定としたいと考えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

【内閣官房長官】

それでは、本件については、本推進本部の決定といたします。

(報道、ペン記者入り)

【内閣官房長官】

最後に、総理から御発言をお願いします。

【内閣総理大臣】

我が国は、SDGsの推進を通じて、創業や雇用の創出を実現し、少子高齢化やグローバル化の中で実現できる「豊かで活力ある未来像」を、世界に先駆けて示してまいります。

そのため、日本ならではの「SDGsモデル」を構築することとし、第2回会合で決定した『SDGs実施指針』における8つの優先分野に総力を挙げて取り組む上で、この度、『SDGsアクションプラン2018』を策定しました。

この『アクションプラン』では、日本の「SDGsモデル」を特色付ける大きな柱として、次の三つを掲げました。

一つ目は、SDGsと連動する官民を挙げた「Society5.0」の推進です。具体的には、ベンチャー企業支援を含む「SDGs経営推進イニシアティブ」や投資促進の仕組み、SDGsに資する科学技術イノベーションのための「国際ロードマップ」など、企業の取組を更に後押しする施策を、来年年央までに策定します。

二つ目は、SDGsを原動力とした地方の創生です。新たに立ち上げた「自治体SDGsモデル事業」を、地方創生の関連支援策と総合的に運用することにより、関係省庁が一丸となって後押ししていきます。

三つ目は、SDGsの担い手としての次世代や女性のエンパワーメントです。働き方改革や女性の活躍を推進し、SDGsを主導する人材育成に注力します。また、日本ブランドであるユニバーサル・ヘルス・カバレッジを始めとする保健や、教育、防災、女性分野等における国際協力も主導していきます。

世界の注目が日本に集まる、2019年のG20サミットや2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会等の機会も最大限活用し、世界に向けて日本の取組を発信していきたいと考えます。

関係閣僚におかれては、来年の年央に予定される次回会合までに、この三本柱を踏まえつつ『アクションプラン』の実施に注力し、SDGsを推進する取組の更なる具体化及び拡充を進めるようお願いいたします。

【内閣官房長官】

それでは、以上をもって、持続可能な開発目標、SDGs推進本部の第4回会合を終了します。

(了)